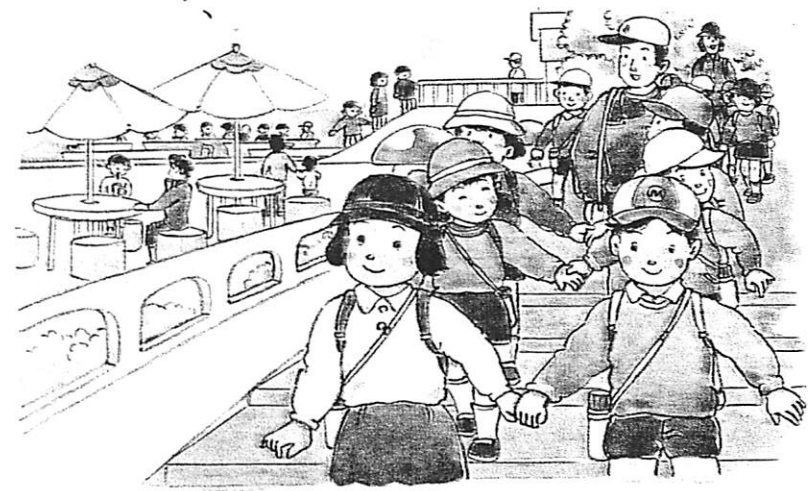


がつこうは、たのしい ことが
いっぱい あるよ。



やっぱり こんな がつこうが、
ぼくは だいすきです。



13 イタリアの あさがお

二がつきが はじまって、みんなが、せんせいの あさがおのうえ木ばちの まわりに あつまって います。



「せんせいの あさがお、はなが たくさん さいたん
だね。」
「一、二、三、四、五、六、七、はあち、八つだ。」

「わたしの あさがおは、十二^{じふに} さいたわよ。」

「ぼくのは、かずは すくないけど、むらさきと ピンクと ニしよくも さいたんだよ。」

みんな わいわいと うれしそうです。

でも、たかしの あさがおは、なつやすみに せわをしなかったので、二どめのはなが、まだ さいて いません。たかしは、ふと、しんせきの おじさんの いえに、いった とき、イタリアの あさがおが さいて いるのを おもいだしました。

「ぼくの うちには、イタリアの あさがおが あるんだ。

いろが そらの あお そっくりで きれいなんだ。」

「ワアー^{わあ} いいなあ。みに いつでも いいですよ。」

と、まりこちゃんが いいました。

でも、つぎの 日^ひから

たかしは、ともだちに

あっても いつもの げん

きが ありません。

がっこうからの かえり

みち まりこちゃんが、

「おかあさんも みせて もらいたいですって。」



と いました。

たかしは、へんじを する ことが できませんでした。
ゆうごはんの とき、たかしは おもいきって その
ことを おとうさんに はなしました。おとうさんは、
「みんなに ほんとうの ことを いいなさい。そして、
うそを ついて、ごめんなさいって あやまって
ごらん。まりこちゃんの おかあさんには、おとうさ
んが いっしょに あやまって あげるよ。」
と、やさしく 言って くれました。
たかしは、にっこりと うなずきました。

14 あさの うた

「おかあさん、いってきます。」
「いってらっしゃい、ぴよんこ
さん。」

あおい そらに、しろい
くもが うかんで います。
とちゆうで、ぽんたさんに
であいました。



13 イタリアの あさがお

1—(4) うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。
(誠実・明朗)

1 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

人間は、自らの欲求を満たすためや自らを防御するためにさまざまなうそをつくことがある。しかし、一度うそをついてしまうと、そのうそを守るために次々とうそを重ねなければならなくなり、小さなうそがいつのまにか大きなうそに発展してしまい、自己の生活を脅かすことにもなりかねない。

うそをついたり、ごまかしたりすることは、周りの人に迷惑をかけるだけでなく、自分の気持ちがすっきりしないで後ろめたさを感じるものであることに気付かせたい。

〈子どもの実態について〉

この時期の子どもは、うそやごまかしをしてはいけないことは知ってはいるが、自分を認めてほしいとか、責任から逃れるとかいう理由で安易にうそをついたり、ごまかしたりして暗い心になることが少なくない。

これは、自分の本当の素直な気持ちを欺いているからであり、そのような状態では明るく楽

しい生活を送れないことに気付いていない。

〈資料について〉

たかしは、夏休みが終わりみんなで楽しく自分のあさがおの花の様子を話しているときに、世話をしなかったために、花が咲いていないことから、さびしい思いをする。そのため、たかしは、自分の家にはイタリアのあさがおがあるとうそをついてしまう。しかし、後になってそのことから、気まずい思いをすることになる。

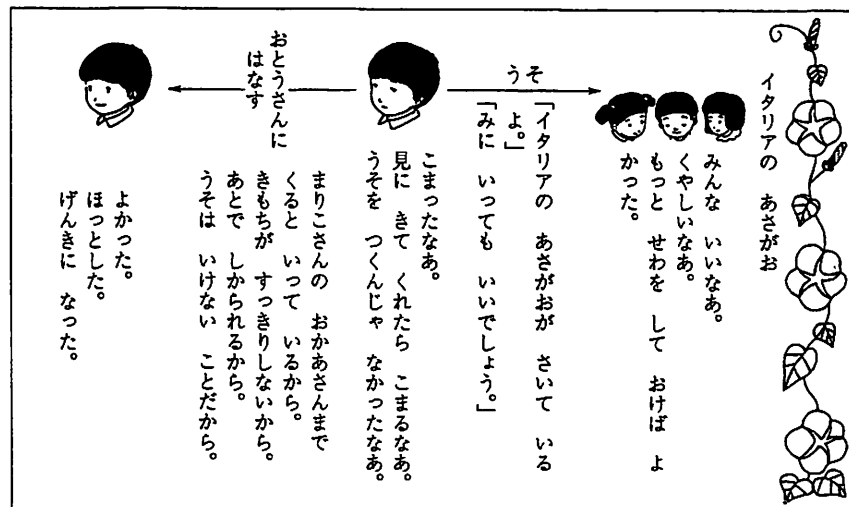
低学年では、友達から注目されたい、他人に認められたいという動機から、うそを言ったりごまかしたりする場合がある。

本資料では、その場の雰囲気からいうそについてしまい、そのために気持ちがすっきりしななたかしの心の動きを感じ取らせたい。

明るく伸びやかに生きていくためには、正直な態度が必要であることに気付かせたい。

2 ねらい

うそやごまかしをしないで、明るい心で生活しようとする態度を養う。



□板書

3 展開

学 習 活 動	支 援 上 の 留 意 点
(1) 今までにあさがおを育てた経験について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や学校であさがおを育てたときの様子を話し合うことにより、資料への導入ができるようにする。 あさがおの花の様子をわいわいとうれしそうに話す友達を見て、会話に入れず淋しい思いをするたかしの気持ちに共感できるようにする。 困った顔のたかしのペープサートや切り抜き絵を使って、うそについて後悔している気持ちがわかるようにする。 うそをついたために心が重苦しくなり、学校生活が楽しくなくなりつつあるたかしの気持ちに共感できるようにする。 明るく元気になったたかしの顔のペープサートや切り抜き絵を使って、正直に言うことにより気持ちがすっきりし、元気に明るくなることに気付くようにする。 そのときはつらくても、正直に行動することの大切さや、気持ちのよさを感じ取ることができるようにする。 困ったことがあっても、うそをついたりごまかしたりせず、正直に行動しようとする意欲を高められるようにする。 「こころのノート」P24,25も使うことができる。
(2) 資料「イタリアのあさがお」を読み、話し合う。	
① みんなが自分のあさがおの自慢をしているとき、たかしはどんな気持ちで聞いていたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> みんなはいいなあ。 花が咲かなくてくやしいなあ。 夏休みの時もって世話をしておけばよかったなあ。
② まり子から、「あさがおを見に行ってもいいでしょう。」と言われたとき、たかしはどんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> 困ったなあ。 見に来てくれたら困るなあ。 来てくれてもいいや。背色のあさがおをさがしてきて、見せたらいいよ。 うそをつくんじゃなかったなあ。
③ たかしがお父さんに、思いきって話したのはどうしてでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> まり子さんのおかあさんまで来ると言っているから。 気持ちがすっきりしないから。 あとで叱られるから。 うそはいけないことだから。
④ お父さんが、「いっしょにあやまってあげよ。」と言ってくれたとき、たかしはどんな気持ちでしたしょう。	<ul style="list-style-type: none"> よかった。 ほっとした。 元気になった。 お父さん ありがとう。
(3) 自分たちの生活について振り返る。	
○ うそをつかずに正直に言ってよかったことがありますか。また、そのときどんな気持ちでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の工作をさわってこわしてしまった。謝って、直していたら仲なおりができた。ほっとした。
(4) 教師の脱話を聞く。 (家庭で正直にできたことについての手紙を紹介することなどもできる。)	